

農業用施設等における除雪時の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

1月23日及び27日、2月12日の大雪により、県内各地でパイプハウス等の倒壊や破損等の被害が発生しています。今後は日照時間が長くなり融雪が進むと予想されますが、積雪の状況に応じた除雪を行きましょう。

また、今後は重い雪が予想されますので、施設の補強や除雪、果樹棚や樹体被害の防止対策等にも万全を期してください。

1 除雪作業

(1) 作業中の事故防止

- ・作業しやすく、機械に巻き込まれない服装で作業しましょう。
- ・倉庫、資材庫、畜舎、堆肥舎等の雪下ろしを行う場合は、屋根からの転落に気をつけましょう。必ずヘルメットや安全带・命綱等を装着し安全を確保しましょう。
- ・建物の屋根からの落雪に十分注意しましょう。
- ・路肩、側溝、用排水路、河川、川岸などの危険箇所を作業前に十分確認し、目印をたてるなどして転落事故を防止しましょう。
- ・作業中の除雪機械での挟まれ事故、巻き込まれ事故に注意しましょう。
- ・1人での作業は避けグループで作業し、相互に安全確認を行きましょう。
- ・除雪作業は重労働なので、十分な休憩時間を取りながら作業を行きましょう。
- ・疲労による注意力の低下は事故の発生につながるため、長時間の作業は避けましょう。

(2) 除雪機の点検と操作方法

- ・作業開始前には、除雪機の点検を実施しましょう。
- ・除雪機械の操作方法や、緊急時の機械停止方法を再確認しましょう。機械の操作方は、一緒に作業をする人にも周知しましょう。

(3) 農業用機械による除雪作業の注意

- ・トラクタ等の農業用機械を使用して除雪作業を行う場合は、雪面でのスリップや滑落に注意しましょう。
- ・タイヤには滑り止めを装着しましょう。

2 園芸施設

(1) 作業者の安全確保

- ・パイプハウスの骨材・被覆資材の修復や撤去作業は、降雪が収まるのを待ち、除雪等を行い安全性を十分確保してから実施しましょう。倒壊したパイプハウスの骨材等には予想外の力がかかっていることがあり、修復や撤去作業時には跳ね上がりなどにも十分注意しましょう。
- ・施設内を加温する場合は、換気に十分注意しましょう。

(2) 加温施設の管理

- ・ボイラー等加温機械の点検を行い、安全管理を徹底しましょう。
- ・加温機械周囲の除雪を行い、排気ガスの逆流等を防止しましょう。

(3) 今後の対策

- ・パイプハウスを中柱や筋交いで補強しましょう。
- ・今後の降雪に備えて、ハウス周囲を除雪しておきましょう。

3 作物別の対策

(1) 野菜・花き

ア 野菜・花き（共通）

パイプハウス等の骨材の曲がりや被覆資材の破損が一部にとどまり、残った作物の栽培が可能な場合は、速やかに補修及び補強を行い、内トンネルやべたがけ等で被覆するなどの保温対策を実施してハウス内作物の最低温度を確保しましょう。

イ 野菜

- ・いちご、トマト、きゅうり等の果菜類で被害が軽微な場合は、摘果を早めに実施するとともに、温度の確保に努め、葉の伸長等の回復が見られたら速効性肥料の追肥や葉面散布を行いましょ。
- ・ニラは雪害を受けた葉茎部を速やかに除去し、それ以降の生長を促しましょう。
- ・ホウレンソウ、コマツナ等の葉菜類は、被害が軽微だった株を内トンネルやべたがけ資材等で被覆しましょう。なお、被害程度が大きく回復が困難な場合は、まき直しや他作物への転換を図りましょ。

ウ 花き

被害が軽微な場合は、葉面散布剤や追肥等により草勢の回復をはかるとともに、病害の発生を抑えるため、病虫害防除指針にしたがい薬剤散布を行いましょ。なお、被害程度が大きく、回復が困難な場合は、早急に植え直しや他品目への転換を図りましょ。

※ 参考資料「パイプハウスの雪害防止対策（暫定版）平成23年3月」

県農業振興課のホームページに掲載していますので、以下のURLよりご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/10639.pdf>

(2) 果 樹

ア 樹体被害等の防止対策

果樹棚上や樹体に着雪が多い場合は、早急に雪下ろしを実施しましょう。

枝が雪に埋没している場合は、枝折れ防止のため雪の沈降が進まないうちに掘り出しましょう。また、雪が固まっている場合は、沈降力を軽減させるため周囲に切込みを入れて溝を作ってから掘り出しましょう。

イ 樹体被害等を受けた場合の対策

主幹部が裂開した場合には、できるだけ早急に支柱を添え、カスガイやボルトで早めに止めて接合しましょう。大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分で切り戻しましょう。

また、切除部（傷口）は、雨水や病原菌の侵入および乾燥等による枯れ込み防止のため、塗布剤を塗布し傷口の保護に努めましょう。

果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

ウ ハウス栽培果樹の被害対策

パイプハウス骨材の曲がりや被覆資材の破損が一部にとどまり、残った作物の栽培が可能な場合は、速やかに補修及び補強を行い、保温対策を実施してハウス内の作物の最低温度を確保しましょう。

(3) 畜 産

ア 畜舎等に着雪が多い場合は、安全性を十分に確保した後、除雪を実施しましょう。

イ 畜舎等が破損した時は、周囲の安全を確認の上、家畜に危害がないように応急措置を講じましょう。

ウ 外傷等異常家畜の早期発見のため、家畜の観察に努めるようにしましょう。また、家畜に危害があった時は、速やかに獣医師に連絡をしましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 0 2 4 (5 2 1) 7 3 4 4

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

○ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報をご覧ください。

<http://www.new-fukushima.jp/>